



第 11 号

76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 2 学期期末考査講評
- 冬休みの課題・連絡
- コラム ～私が今、伝えたいこと～
- 冬休み明けの予定



学年主任より

ドイツ、スペイン撃破で歓喜に沸いたカタール W 杯ですが、76 期生も合唱コンクールにクラスマッチにと、大いに盛り上がりを見せてくれました。

岸高生を見ていていつも思うことは、短い期間で仕上げてくるところはさすがだなということです。8 組の合唱が始まった途端に、代議員とクラス代表が中心となり 76 期生で合唱コンクールを作り上げた喜びが込み上げ、目頭が熱くなるのを感じました。結果発表で喜ぶ 8 組、それを称えて拍手を送る 76 期の仲間たちの姿を見て、温かい気持ちになりました。聴きにいられた曽野先生からは「大変素晴らしかったです。クラスのまとまりもあって、本当に素敵でした。いい学年になっていますね！」とのメッセージを戴きました。皆さんの発表を聴いた学年団の先生方も、温かい気持ちになれる合唱コンクールでした。

寒空の下行われたクラスマッチでは、グラウンドで元気よくドッジボールを楽しむ姿が微笑ましく、さらに、自然とクラスに円陣ができ、クラスの WA がいくつもできていた光景に胸が熱くなりました。運動委員の生徒たちの運営もスムーズで、頼もしく成長していることを実感しました。

最後に、先日の受験対策セミナーを受けて、受験への道のりをイメージすることができたでしょうか。今後の高校生活では、皆さんで受験勉強を頑張っていく雰囲気を作っていってほしいを願っています。

「受験」は「個人戦」 「受験勉強」は「団体戦」

(76 期学年主任 伊藤)



2 学期期末考查講評

現代文

記述問題について解説します。

「本文に即して」といわれたら、本文から必要なことを拾ってまとめましょう。

今回の【一】の問七では、本文の

「私は第一に彼が解しがたい男のように見えました」

「私は彼の強いこと……真面目なことを知っていました」

「彼を相手にするのが変に気味が悪かったのです」

の三点をまとめましょう。

【二】の問三は、傍線部①の前後から

「彼の天性は他の思惑をはばかりほど弱くできあがってはいなかった」

「こうと信じたら一人でどんどん進んで行くだけの度胸もあり勇気もある男」

「現在の自分について私の批判を求めたいようなのです」

更に、「現在の自分」とは、

「恋愛の淵に陥った彼」のことです。この四点をうまくまとめましょう。

次に、問五は、傍線部③「私は思わずぎょっとしました」の理由は、傍線部③の後の

「私にはKがその刹那に居直り強盗のごとくに感ぜられた」からです。ここを具体的に説明しましょう。

さて、「こころ」は読破できましたか。Kはなぜ死を選んだのでしょうか。「私」も死ぬのはどういう理由でしょうか。更に、残された「妻」（お嬢さん）はどんな気持ちになるのでしょうか。大学生の私は東京に駆け付けますが、残された奥さん（お嬢さん）に、あなたならどんなことを話しますか。

夏目漱石の「それから」はお嬢さんをKに譲ったバージョンです。譲ったけど、やっぱり好きで、告ってしまいます。「門」はKが生きているバージョンです。「それから」の続きともいわれています。最後に書かれた「明暗」は、私とお嬢さんがそれぞれ別の人と結婚し、その後再会し、というところで終わっている未完の作品です。冬休みに読んでみてください。

古典

まず、難易度は高くありません。そのうえで、不出来だった点を伝えておきます。

①現代語訳の問題。相変わらず弱いです。現代語訳は古文文法・古文単語の知識を使って正確に訳すことが求められます。古文単語をさぼる、品詞分解をないがしろにする＝現代語訳の問題に対応できない、です。なんとかするつもりがあるなら、単語、品詞分解から逃げないようにしましょう。ちなみに、丸覚えで正解していてもあまり価値はありません。（努力は認めますが。）なぜその訳になるのかを説明できないなら、実質不正解だと思ってください。

②「いかで～ばや」の文法・単語の知識。（4，5組は範囲外です。）「いかで」も「ばや」も聞いたことはあるはずですが。定期考査ごとに、知識をリセットしていいと思ってやしませんか？先生らはある程度受験も意識して授業をしているのに、皆さんが忘れていい（復習しない）という姿勢なら意味ないなと悲しくなりました。

③アップリフト、リテラ、古文単語：自分で頑張る系の部分は取り組んだ分だけ、得点になるのでわかりやすく差がつかしました。ほかの教科が、と言いつけるのは簡単ですが、こちらはそれらをきちんとやる必要があると考えているから課しています。今回、これらに手が回らなかったという人は、「じゃあ何日前からテスト勉強をしたらできたのか」を逆算して、最後の学年末考査では同じことを繰り返さないようにしてください。

世界史

今回の考査は、主に中国史（清代末期～中華人民共和国の成立）と、第一次世界大戦からの出題でした。学年平均点は約 47 点で、今までの 4 回の試験の中で一番低くなりました。今回は解答用紙をマークシートにした以外は、それほど難易度を上げたつもりはなかったのですが、平均点が下がってしまったのは残念です。

また、今回も論述問題を出しましたが、こちらも残念ながら、無回答の人が多かったです。中間の講評にも書きましたが、高校のうちにしっかり論述力（文章力）を付けておくことをお勧めします。私は大学で歴史学を専攻しましたが、試験や課題はほとんどレポートでした。文系の学部は大体これと同じような事情だと思います。また文系だけでなく、理系でも論文を書かなければならないでしょう。高校で社会科の試験問題といえ、正誤問題や空欄補充が多いと思いますが、大学に進学すると文章による課題（試験）が多くなります。これに対応するためにも、今のうちに文章を書くことに慣れておきましょう。そして、文章を書く際には、正しい日本語と文法を使うように意識しましょう。

二学期期末までに第二次世界大戦を終わらせるのが目標でしたが、全く果たせず…。三学期のうちに、第二次大戦を終え、冷戦までは進みたいと思います（冷戦まで終わるかな…）。

三年で GHW を選択する人は、冬休みを使って二年の既習範囲を復習しておいてください。

日本史

大正期から昭和初期にかけて、とくに政治・経済を中心としたテストとなりました。明治期は政府のもとで「富国強兵」政策が進められたのに対し、今回は民衆や軍部といった諸勢力の動向に加え、国際情勢とも密に関わっている時代でした。この時代をいかに読み解くのか。この時代を理解しなければ、近現代の最重要とも言える「戦争」や「軍部」といったテーマを深めることはできません。「戦争は嫌い」「軍部が悪い」という感想に終わらず、「なぜ日本では軍部が台頭して戦争に突き進んだのか」を自分なりに解釈しましょう。みなさん、外国から来た方々から「日本はなぜ世界を敵に回したの？」と聞かれたら、なんて答えますか？「軍部が悪い」とかテキトーに答えますか……？ここで考えることをしなければ、今年度の日本史で学んできたことは無に帰すくらいに思います。最終レポートを提出できなければ、日本史で学んできたことは無に帰すのです。期待しています！

授業でも伝えましたが、史資料による出題の出来栄がイマイチでした。共通テストでも史資料による出題が多く、これからレベルアップが必須となります。もちろん知識も大切にしないと、答えられないでしょう。知識を踏まえた上で、読み取る技能を身に付けると、「何を問われているのか」「出題の意図は何なのか」を予想することができるようになります。だからこそ、まずは資料集や重要史料を見慣れることが大事となります。

次のページに続く

日本史の続き

また、復習についても再度伝えておきます。幕末・維新の時代はみなさんトコトン学習できているので、後回しにしましょう。もともと一筋縄では行かないテスト範囲なのに、(他科目のテスト勉強にも追われて)十分な勉強時間さえ取れなかった今回の時代こそ、まずクリアしましょう。そこから時代を順に遡っていくのもアリですね。ぜひクラスルームの添付ファイルも参考にしてください。ふぁいと！

地理

今回の考査は、2 学期中間考査までの気候の基礎をふまえて、地理の最重要分野といっても過言ではない「気候」全般の内容でした。一部返却しながら、コメントした人もいますが、選択肢の2点問題についてはしっかり復習をしてください。多くの問題が過去の共通テストやセンター試験などからの出題です。このような問題をしっかり正解できることが、最終的な目標となるはずですよ。どのようなプロセスで正解の解答に至るのか、納得感を得ておいてください。

それから、気候の内容でも例えば、地形性降雨を場所で理解するうえで、世界の山地地形分布の理解が必要だったと思います。土壌分野でも「レス」の理解に、氷河地形の知識がでてきたように、少しずつ地理でも積み重ねとなってきていることも実感があってほしいです。同じような形で、気候は産業の理解にも、地誌の理解にもつながる地理の「最重要分野」です。この内容があいまいならば、絶対に入試でも高得点は取れません！気候の内容はしっかり定着させておいてください。

3学期は産業分野、具体的には農業や資源・エネルギーの分野の学習をすすめていきます。来る共通テストでは大問2番などで、出題される分野です。授業進度を心配している声も届いていますが、そんなに遅れてないので、ご安心を！ 気候分野は確かに丁寧に時間かけてきましたが、重要分野ゆえですよ！

最後に、地理での直近の目標をたてるとすれば、2月の共通テスト模試で得点を取ることかな…と思っています。まずはそこを一番近い目標として、学習を一緒に進めていきましょう！1月～はちょっと講習も計画中です。また追って連絡します！！

数Ⅱα

今回の考査が難しいと感じた人は、やったことがある（見たことがある）問題をちゃんと解くことができるための勉強に偏っている可能性があるかもしれません。判断力が必要な問題、思考力を必要とする問題を出題し、皆さんの理解度と思考力を測りました。

- ② 4STEPの演習問題A51の類題ですが、積分区間が定数である定積分を定数の文字と置けば、あとは計算するのみです。演習不足による経験不足であった人、多くないですか？
- ③ 「2曲線に接する共通接線」の問題でしたが、「2曲線が接する」問題であると、問題文を正しくとらえられていない解答が多くありました。この間違えの原因はどこにあるのでしょうか？
- ④ 極値と区間の端での関数の値を比べて最大値を決定します。極大値と同じ値をとる x の値を求める必要があります。
- ⑤ (1)は定数分離をして、方程式の実数解の個数は曲線と直線との共有点の個数に一致すること

を考えます。(2) は共有点を 3 点持つ範囲で直線を動かしたときに、共有点の x 座標がとる値の範囲を考える問題でした。初めて出会った問題だったと思いますが、思考力をみる問題でした。

- ⑥ (2) 必要条件・十分条件の判断ができない人が多いです。この問題に限らず、必要条件・十分条件の判断ができるように復習しましょう。 $f(-1)=8$, $f'(-1)=0$ の条件を満たしても、 $x=-8$ で極値 8 をとるとは限りません。この問題も初めて出会うタイプの問題だったのではないのでしょうか？

今回の定期考査は、今の勉強方法で大丈夫ですか？という問いかけのメッセージを込めました。

数Ⅱβ

採点をしていて思ったこと

- ① つまらない計算ミスが結構ある
考え方は完璧なのに 残念すぎます！
- ② 細かい表記ミスはやたらある
『()のある・ない』などは大きな違い しっかり意識して答案を書くように！
- ③ 問題に取り組む時間が足りていない
全く見たことのないというのは最後の問題くらいであとは 4 ステップに似たような問題があったと思います
日々の少しずつの積み重ねが大切です(塵積ってやつです)スタートダッシュで息切れしてしまわないような地道な計画を立てましょう

ここまで学んだことをこの先どんどん使っていきますので、この考査の内容はきちんと復習しておいてください

数B

今回の試験範囲は「平面上のベクトル」(一部を除く)であった。3 学期は主に「空間のベクトル」について学習する。平面上のベクトルがわかった上で進むので、しっかりと復習しておくこと。

答案を見ていて気になった問題

- ①(3) ベクトルの大きさの最小値を答える問題。正答は $(7\sqrt{5})/5$ であったが、 $49/5$ という誤答が目立った。それが出てくるまでの考え方はきっと正しいのに、もったいない。
- ③ 点の存在範囲の問題。できてほしい問題だったのに、正答率がとても低かった。式から図のイメージをしっかりともてていますか。
- ⑦ 内積を利用してベクトルを求める問題。これもできてほしい問題だったのに、正答率が低かった。4STEP 68 の類題。正答出来なかった人は、問題集への取り組み方を見直すこと。
- ⑧ 角の二等分線の問題。チャートⅡ+B 練習 27 の問題を改題して出題した。4STEP 発展 87 にも類題がある。「ひし形の対角線は内角を 2 等分する」ということがポイントであった。わからなかった人は、もう一度じっくり考えてみてほしい。

理数物理

3 点あります。時間のない人もそれぞれ 1 行目だけでも読んでください。

① 繰り返しになりますが、単振動は入試頻出の分野です。必ず復習してください。

② 勉強不足の人が多かったです。1 学期中間の物理の講評を転載します。

授業があったその日の夜に、最低 15 分授業プリントを見返し、復習しましょう。週末に 1 時間、物理の勉強をしましょう。1 週間当たり 1 時間半の勉強時間ですが、物理を考える時間は約 2 倍になります。

試験前、少なくとも 6 時間は物理の勉強をしましょう。試験 1 週間前はクラブが休みのはずなので、平日の 19~22 時までの 3 時間×5 日、土日は 7.5 時間×2 日の計 30 時間は勉強できると思います。10 分の 1 の時間を物理に充てると、3 時間勉強できます。試験前日に 3 時間勉強すれば、これで 6 時間。

物理という新しい考え方・解き方を身に付けるには、一定の勉強時間が必要です。考査前、他教科の課題に追われ、物理の勉強に時間を割くことができないという人は、1 週間当たりの勉強時間を増やしましょう。

③ 勉強をしているけど、なかなか成績が上がらない人は、勉強の仕方を見直してはいかがでしょうか（もちろん相談にのります）。3 年生では物理は 4 単位（週 4 回）になり、勉強方法を見直す余裕はありません。3 年生になる前に、物理の勉強方法を確立しましょう。

理数化学

ここまでで 2 年生の課程をほとんど学習し終えました。今、これから 3 年生が受験しようとしている共通テストは過去のセンター試験とは全く異なり、かなり難易度が上がりました。特に 2 年生の内容がその大部分を占めます。今一度、時間を設けて、この 1 年、習ったことをそろそろ復習していきましょう。先生は化学が特に好きとか、得意だったとかではなかったのですが、とりあえず受験を意識し始めた頃には、君たちのもっている問題集と同じ「セミナー化学」から始めてみました。この問題集、一番おススメです。各分野、幅広く考え方が網羅されているので地道に取り組んでみて下さい。冬休み、良い時間にしましょう。

理数生物

考査の平均は 58.0 でした。【2】問 4 と【6】問 3 の計算問題は単位の換算が少し煩雑でしたが、問題の難易度自体はそこまで高くありません。間違えた人ももう一度自分で解きましょう。【7】の実験考察問題は文章量も多く、情報を読み取るのに苦労した人も多かったかもしれません。普段から文章に触れる機会を作り、慣れておきましょう。だんだんとメモを取ったり、図にかいてまとめた力がついてくると思います。

この 2 学期で、新しい内容をたくさん学んできましたが、忘れてしまっている人も多いと思います。3 年生になっても新たに学ぶ内容はどんどん増えていきますので、今のうちから復習をコツコツとやっておきましょう。

英語Ⅱ

●コメント

学年平均は 49.5 点。

大問	内容	テキスト	満点	自分の点数	種類		
1	リスニング	FoL	16				
2	語彙	シスタン	8		①		④
3	語彙	シスタン	6		①		④
4	語彙	ワーク	8		①		④
5	語彙	教科書	6		①	②	
6	語彙・文法	ワーク、RC	10		①		④
7	語彙・文法	ワーク、RC	6		①		④
8	読解	教科書	8			②	
9	読解	教科書	8			②	
10	読解	教科書	8			②	
11	語彙・文法	教科書	6		①	②	③
12	読解	ワーク	4				④
13	読解	実力	6				

種類	満点	自分の点
①語彙・文法	50	
②教科書	36	
③Translation	6	
④自分でコツコツ	42	

①大問 2～7, 11 (計 50 点) が低かった人へ

→ 読解の基礎となる語彙や文法を問う問題。低かった人は今後、さらに苦労します。今まで以上に Bright Stage や構文 150 で文法の復習をしましょう！ 今まで以上にシスタンの勉強をしましょう！

②大問 5, 8～11 (計 36 点) が低かった人へ

→ 教科書 L8, 9 からの出題。真面目に予習し、真面目に授業を受けていたら、かなりの点数が見込める問題でした。予習をし、授業を聞き、復習をしましょう。それ以上に言えることはありません。

④大問 2～4, 6, 7, 12 (計 42 点) が低かった人へ

→ 自分でコツコツ取り組む必要があるシスタンやワーク、Reading Core から出題された問題。提出じゃなければ勉強できないようではいけません。

また、ワークや Reading Core の問題を一度解いただけでは不十分です。それで単語や熟語が書けるほど記憶に定着するということはありません。そのことはシスタンで十分体感しているはず。ワークや Reading Core の問題を解いたあと、何度も何度も単語や熟語を覚える努力をしてください。何度も覚えるためには、テスト直前に取り組んでいるようでは手遅れです。

受験モードに切り替わってますか？

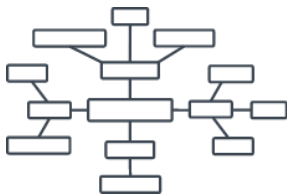
テスト直前に一気に勉強するのではなく、日頃からコツコツ勉強しましょう！

●問題の解説・コメント

③ 派生語

intriguing って何？と聞かれた時、どう答えるだろうか。もちろん、「非常に興味をそそる(ような)」という和訳を答えられるのも素晴らしいことだが、「intrigue の形容詞形」や「very interesting」なども頭に浮かぶようになってほしい。

脳内にどんどん大きな単語のネットワークを構築していきましょう！



次のページに（まだまだ）続く

5 発音

アクセントの位置とその発音の2つが分らないと解けない問題。中間考査と同じ形式だったので、問題の内容は分かっていただろう。また、発音・アクセントを覚えるために、音読だけでなく（口と耳だけでなく）、発音記号等も使いましょう（目も使いましょう）。

(1)	7.pleasure e	1.theory i:	ウ.comedian i:
(2)	7.wool u	1.incongruity u:	ウ.immune ju:
(3)	7.sewing ou	1.frequency i:	ウ.circuit e:

8 読解

(1) T/F 問題と出来事を時系列順に並べる問題をミックスしたような問題。

ただ、選択肢 4. Margarete crossed the ocean to America in order to sell her teddy bears at an international trade fair が明らかに本文の内容に一致しないので、実質 2 択問題でした。

歴史上の出来事や人物を紹介する場合、過去形を用いて時系列順に述べていくのが普通です。ただし、過去完了形ができれば要注意！ 時間をさかのぼる必要があります。

1～5 段落：①ポリオにかかる→②学校に通う→③入院する→④手術する→⑤治らないと知る

6 段落目で Margarete had earlier attended sewing school. と過去完了形が出てきました。少なくとも⑤よりも前の出来事であることを意味します。（※ネイティブの先生曰く、厳密に言うと①～⑤のどれよりも前の話かは分からないが、普通は直前の⑤より前だと解釈するようです）

(4) “But (う) she decided to produce it, based on her own belief that A.”
の

A に入る語句を本文から抜き出す問題。

これは正解しないといけない問題！ 授業をきちんと受けていたら解答できるはずの問題！

9 読解

(3) “This repeating cycle of (②), … contagious.” の(②)に入る語句を選ぶ問題。

選択肢の中で、cycle(循環)ができるのは、2. bonding-laughter-bonding だけである！
(bonding-laughter- bonding-laughter- bonding-laughter-bonding…)

これも授業をきちんと受けていたら解答できるはずの、正解しないといけない問題である！

11 和訳

(1) Instead of constantly struggling to gain what I lack, I shall be grateful for what has been given to me and do what I can to the best of my ability.

- and… and がつないでいるものを what has been given to me と what I can だと勘違いし、「～と…に感謝しよう」のように訳している人が多かったです。and の後ろの do を無視してはいけません！ この文では be～と do～が and で繋がれています。

- to the best of my ability… 副詞句です。形容詞句ではありません。

また、この語句が修飾しているのは do です。

(2) It changes brainwave activity towards what is called a “gamma frequency,” an improved condition for memory and recall.

- it changes brainwave activity...

it の存在を認識していないような訳が多々見られました（脳波の活動が変わる）。どんなに後半が分からなかったとしても、「それは 脳波の活動 を変えます」とは訳せなければなりません。

この問題で it を訳出できなかった人は、英文を訳す時に S・V・O・C に下線を引いてから訳すという中学生や高校 1 年生のような方法に戻る方がいいかもしれません。

- コンマ・同格のコンマ。この文では what is called a “gamma frequency” と an improved condition for memory and recall が同格。

「ガンマ波」という少し難しい用語が出てきたので、後ろに補足説明を付けているので、訳す時も、勝手に順番を入れかえず、「ガンマ波」「～の状態」の順に訳しましょう！

12 読解（ワークブック）

文章の流れを把握できるかを問う問題。

内容から順番を考えるのももちろん OK だが、言語（形式）にも気を配ってほしい。

①1 と 4 を比べると、1 は Morris Michtom の後ろに owner of a Brooklyn toy store という説明があるが 4 にはない ⇒ 1→4 の順

②2 と 5 を比べると、2 は a bear-hunting trip で、5 は the hunt となっている ⇒ 2→5 の順

③3 と 1 を比べると、3 は a cartoon であり、1 は the cartoon となっている ⇒ 3→1 の順

上の①～③だけでは、まだ「2→5→3→1→4」という答えを導き出すことはできないが、少なくとも完全にランダムで並べ替えるよりマシである。（5!通りから 9 通りにまで減らすことができる）

13 読解（実力）

“low context culture”と“high context culture”における humor を整理しながら読む必要があったが、一方を理解できれば、もう一方も理解できたと思います。

low context culture	high context culture
understood by people of diverse cultural backgrounds → more universal	understood among close friends and family members
elements of basic human nature (e.g.) greed, jealousy, romance, stubbornness, and ignorance.	private experiences about themselves, friends, or family members
the ethnic joke	very few ethnic jokes

次のページに続く

(1) *A math teacher asked a question to a boy in class. "You have five apples. I ask you to give me two apples. So how many apples do you have?" The boy answered, "(①)!"*の(①)に入る数字を答える問題。

斜字体部分のみで判断するのではなく、次の文の the boy doesn't have to give the teacher the apples も読んで、判断してしかった。

英語構文

今回の学年平均は62点。中間が47点だったので、頑張って勉強してくれた人に対しては、やれればやる！と褒めてあげたいです。が、このテストでまだ29点以下の欠点の人がいました。サポート講習で暗記したはずの、そのままの問題もちろほらあったはずですよ。努力しましたか？何とかなと思っていませんか？何とかするのはあなた自身です。次回を期待します。

で、注意点をいくつか下に書いておきます。大問(6)で下線部訳を出しましたが、下線部どころか全文を和訳していた人が、各クラス(多いところで)7~8人いました。4点減です。大問(5)では、(5)(6)の enough, cases を使ってという指示も無視したり、(2)の『日本チームが負けた』を『勝たなかった(引き分けもあり?)』と変えて答えていたり…。1年後を見据えて引かせてもらいました。この悔しい経験から、2度とこのような、問題文をしっかりと読んでいない(だけの)ケアレスミスは防ぐように注意してください。

また、大問(7)の最後の和訳問題で、(the last thing they need is a label that creates distance between them and others の部分)単語だけを追いかけて、構文どころか、文型を無視して和訳していた人が多かった。また、代名詞の them を単純に彼らと訳し、others をほかの人たちと、単語そのままに和訳していた人、もうそろそろ1年後の受験を考えて、内容をとらえて和訳する習慣をつけてください。単語だけつなげて雰囲気でも和訳するのは不可。もっと深い答えを大学側は期待し、望んでいます。頑張ってください。で、みなさん冬休みをどう過ごしますか？

異文化理解

平均は57.5点でした。形式は前回(1学期末)と変わっていないので、油断していた人が多かったのかもしれませんが。得点が下がってしまった人が大半だったと思いますので、その原因を探って、次回以降に活かしましょう。

単語を例にとって話をします。「覚えたのに忘れた」「この単語はマークしてなかった」という感覚がある人まだ救いがあります。致命的なのは「知っていると思っていた単語が違う意味だった」という人、さらに深刻なのは、そういったことにさえ気づけていない人です。早く自分がどこにいるのかに気づきましょう。そうすれば、自分に合った勉強ができます。

この文章が生徒の皆さんに届くのは12月も後半でしょうか。つまり、共通テストまで1年と1か月ぐらいです。これは岸高生に対してもそうですし、全国の高校2年生に対しても平等です。この13か月をどう過ごすかが、結構人生大きく左右すると思います。



冬休みの課題・連絡

国語（全クラス共通）

- ① 現代文解放のテクニク 15・16（p60～67）
 - ② リテラ 14・15（p32～p35）
 - ③ アップリフト19・20（p44～47）
- ① ～③すべて始業式の日に、クラスごとに集めて提出すること。

英語 S 演

Cutting Edge Blue

- ① Chapter 1 ・本文を読んで問題を解き、丸付けをする。
 ・解説を読み、文章を理解する。
- ② Chapter 13 ・本文を読んで問題を解き、100 字要約を行う。
 ・わからないところがあれば調べる。

*①②を学年末考査の範囲の一部とします。

*②は3学期の授業にて解説を行います。①については、解説は行いませんので、配布した解説を読んでもわからないところがあれば、各自質問に来てください。

数学

数Ⅱ α ・・・「ニュースタANDARD」のCHECK&REVIEWの数Ⅰ・A範囲を解く

数Ⅱ β ・・・青チャートの練習またはEXCISEを解く。（問題数は問わない）

ただし範囲は、数Ⅱ『三角関数』『指数関数と対数関数』の内容を中心とすること。3学期の授業内容で必要となるので、公式はすべて使いこなせるようにしておくこと

数B・・・青チャートの練習またはEXCISEを解く。（問題数は問わない）

ただし範囲は、数B『数列』『ベクトル』の既習範囲から選択すること。

英語Ⅱ

- ① システム英単語 ・p.239～257
 ・p.82～93
- ② グループプレゼンのスクリプト作成

*詳しい内容については、クラスルーム内の案内を確認してください。

英語構文

- ① Bright Stage（第20章）
- ② 英語の構文150（第13～14章）

*詳しい内容については、クラスルーム内の案内を確認してください。



コラム ～私が今、伝えたいこと～

普段授業などでは言えていないが、生徒たちに今、伝えたいメッセージ（叱咤激励、アドバイス、感想、連絡）がないか、学年団の先生方に伺いました。

以下、回答があった先生方の分を載せています。

三好

数学のテスト監督中、「収束」「発散」という言葉を目にし、思い出したことがあります。

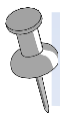
2年前、僕が3年生を教えていた時の話です。convergent thinking、divergent thinking という語について書かれている英文の下線部を訳すという問題において、convergent は「収束型の」と正しく訳せているのに、divergent は「発散型の」と訳せていない生徒が3割近くいました。代わりに「分離型の」「バラバラの」「ダイバージェントな」などと訳していました。

語彙力を高めるのは、国語や英語の授業のみではありません。他教科の授業や実生活を通して、語彙を豊かにしていってください。

ちなみに、convergent thinking、divergent thinking がどのような思考なのか気になる人は、僕のところに来るか、ネットで調べてください。

曽野先生

去年出来なかった合唱コンクール、どうしても見たくて急遽お邪魔しました。皆さんの歌声を聞いて、一言では言いきれないくらい、色んなものが伝わってきました。みんなで歌える喜び、二年生になり、新たにそれぞれ個性のある素敵なクラスを作っている事、最高に楽しそうな修学旅行やその他の行事を経て温かい一体感が増したんだろうなという学年の雰囲気、そういったものを肌で感じ、幸せな気持ちで帰った一日でした。急いで帰らなくてはいけなかったのですが、何人かとは少しお話す事ができたのもとても嬉しく、元気をいただきました。皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。またお会いできる日まで。



冬休み明けの予定

1月の行事予定を載せておきます。授業の時間割に関しては、教室掲示されている曜日変更のプリントを確認しておくこと。

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1/10（火） | 始業式、実力考査、個人写真 |
| 20（金） | 授業×6、文理課題研究最終発表会の準備 |
| 21（土） | 文理課題研究最終発表会 |
| 23（月） | 代休 |
| 28（土） | 駿台全国模試（ハイレベル模試）※希望者＋スーパークラスの生徒 |